



なみ き

埼玉県議会議員



# 並木まさとし

無所属  
県民会議  
SAITAMA



発行者  
連絡先

埼玉県議会議員 並木正年  
〒365-0038 鴻巣市本町 3-2-19-B  
TEL 541-7777 / FAX 543-8000

日頃の活動は  
ホームページで!

並木まさとし

検索

namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp



埼玉県内市町村 住民基本台帳人口の社会増減 (令和2年1月~12月・単位:%)



新型コロナの影響から大手企業が兵庫県淡路島への移転、電通の本社ビル売却、丸紅の新社屋移転など地方移転が進んでいます。東京都では2013年以来の転出超過が昨年7月から8カ月連続(約40万人)で、埼玉を含む3県は人と企業の転入が活発化しています。

昨年の県内市町村別の社会増減(転入と転出)は1位さいたま市(+10,922人)、2位川口市(+2,383人)、3位上尾市(+1,372人)など、県南から鴻巣市(+31人)までは増加傾向にあります。

多くの市と同様に本市でも出生数よりも亡くなる方が多いため、社会増であっても人口が減ってしまうといった状況です。平成22年4月を振り返ってみると鴻巣市の人口は120,981人、世帯数45,994、社会増減は-25人でしたが、今年4月では人口117,895人、世帯数51,065、社会増減+41人と、人口は減っていますが約4,600世帯が増加し、転入者も増加傾向にあることから住み良い街として選ばれていることがうかがえます。県では多子世帯向けの中古住宅取得に最大40万円、若い夫婦に限定した子育てハッピー住宅の拡大、市では新婚世帯向けの住宅取得・賃貸費用の補助を最大60万円まで支援しています。

(増減%) 水色-1.5~-1%・濃灰色-1~-0.5%・薄灰色-0.5~0%・緑0~+0.5%・黄緑+0.5%~+1%・黄+1~+1.5%

## 今後のコロナワクチン接種スケジュールについて

65歳以上の高齢者の方へのワクチンについては4月5日の週から段階的に分配されています。当初は限られた量でしたが4月26日の週と5月3日の週に埼玉県には282箱が分配されており、全市町村にワクチンが行き渡っています。次に、5月10日の週と5月17日の週に1,095箱で1,281,150回接種分(鴻巣市には14箱で16,380回接種分)が分配される予定です。さらに、5月24日の週と5月31日の週には全国で16,000箱以上のワクチンが分配され、6月末には65歳以上の高齢者全員分のワクチンを確保できる見通しとなっています。\*2回接種分で換算すると県内の65歳以上の方(約19.3万人)の41%相当です。\*1箱とは・・・195瓶(バイアル)入りで、1瓶(バイアル)で6回分のワクチン接種が可能です。

5月10日~ワクチンの入荷見込みを確認し「予約受付開始のお知らせはがき」を年齢で区切って順次発送

①75歳以上の方→②70歳以上の方→③65歳以上の方

5月17日 予約受付開始→「予約受付開始のお知らせはがき」が届いた方から順次

5月中旬 高齢者施設入所者の接種開始

5月下旬 ワクチン接種開始(個別接種) 市内の医療機関 39 箇所

6月20日 ワクチン接種開始(集団接種) 鴻巣保健センター・吹上保健センター

接種実施・医療機関やスケジュール

医学的知見が必要な専門的な相談

鴻巣市 ワクチンコールセンター (日~金曜日 9~17時)

埼玉県ワクチンコールセンター 24時間(土・日・祝日も実施)

TEL 0570-550-342

TEL 0570-033-226

# 埼玉県救急電話相談 24時間365日をご利用下さい



急な病気やケガの時、すぐに救急車を呼ぶべきか、誰でも動揺してしまいます。消防庁による全国の119番通報は、40年前の1980年は約200万件でしたが、現在では約600万件近くまで増加しています。

当時より人口が減少しているにもかかわらず救急通報が増加している要因は平均年齢の違いや高齢化によるものだと言われています。(1980年の全国平均年齢は34歳、うち65歳以上が約9%)、現在は49歳(同約29%)

そこで埼玉県では救急搬送されるべき重症・重篤者のスムーズな受け入れ態勢を確保するため、救急通報を迷った方が看護師に24時間365日で相談できる救急電話相談「#7119」を平成29年10月に開設しており、医療相談はもちろん、緊急で受診可能な医療機関も案内しています。(※歯科・口腔外科・精神科を除きます)

開設以来の相談件数は年々増加しており、令和元年度は大人の相談が約9万件・小児が約13.3万件(計22.3万件)の問い合わせがありました。また、若い世代に対応した人工知能AIを使った気軽なチャット相談では「すぐに救急車を呼んでください」や「現時点では医療機関に行く必要はないでしょう」など、これまで蓄積した相談内容をAIが白～赤の緊急度で判断してくれます。

もしもの時、救急通報に迷った際には平日の19時～22時まで開設されている市保健センター内の鴻巣夜間診療所(内科・小児科)TEL 048-543-1561 と合わせて日頃から意識しておく必要がありますね。

## #7119 埼玉県救急電話相談の相談件数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
大人	62,578	81,223	90,184
小児	92,818	118,546	133,000

## 令和元年度の鴻巣市内の救急出動状況

出動件数	搬送件数	不搬送件数	急病	一般負傷	交通事故	火災
5,281	4,713	568	3,481	700	395	35

キトリ

## 埼玉県救急電話相談 24時間365日

電話番号 #7119 または 048-824-4199

看護師による医療相談と緊急時に受診できる医療機関案内



鴻巣市夜間診療所 鴻巣市中央2-1(保健センター内)

電話番号 048-543-1561

診療日:時間:科目 月曜日～金曜日 19時～22時 (内科・小児科)



昭和45年鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部)/亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣東小PTA副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長/第8回こうのす花火大会代表/鴻巣市消防団第2分団員(23年目)/鴻巣市議会議員2期/埼玉県議会議員2期目/総務県民生活委員/経済・雇用対策特別委員/家族:妻・長女・長男・愛犬レオ